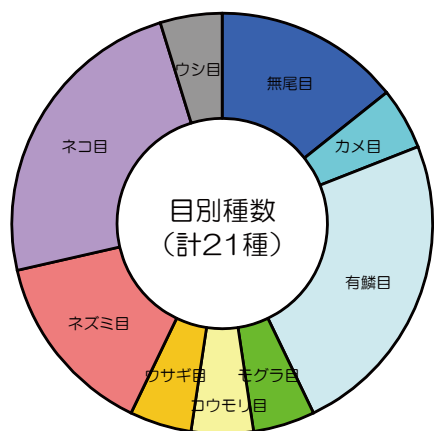


両生類、爬虫類、哺乳類

最新(H25年度)の河川水辺の国勢調査では3種の両生類、6種の爬虫類、12種の哺乳類の合計21種が確認されています。このうち重要種(絶滅が危惧されている貴重な生物)は2種です。

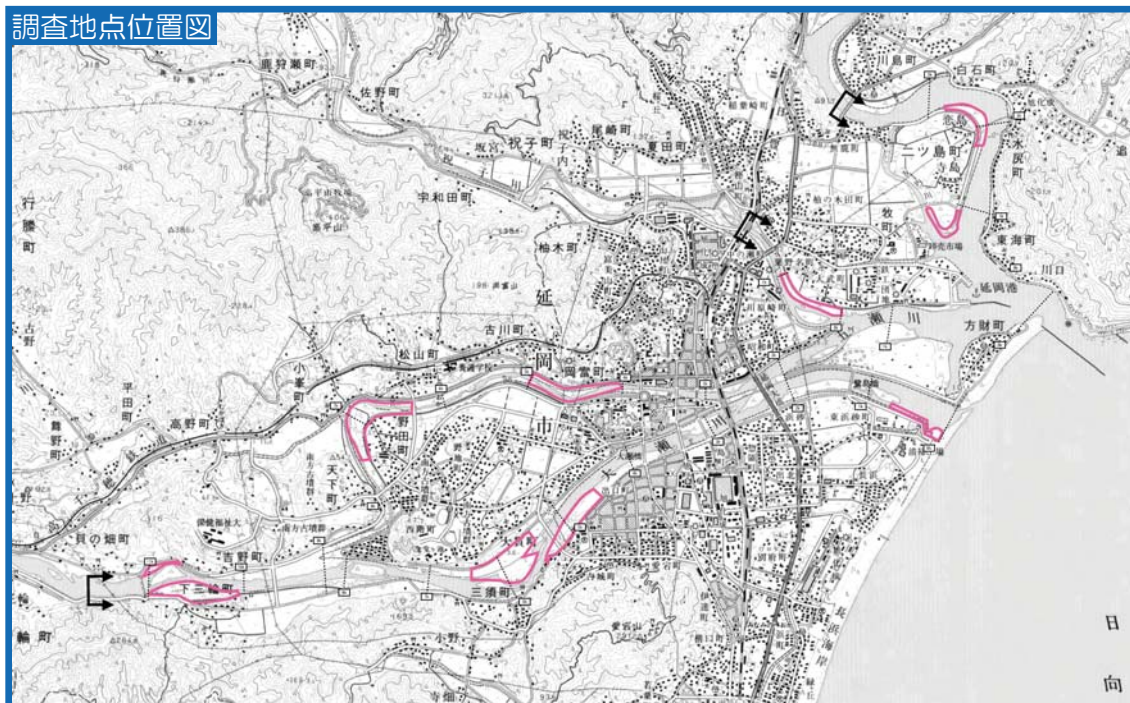
河川敷では、オギ原などの草地で営巣するカヤネズミや、里地里山と河川を行き来して生息するタヌキ、キツネ、テンなどが生息しています。水辺のワンドや水たまり、水辺植生帯のある環境では、アオダイショウなどのヘビ類、ヌマガエルなどのカエル類などが生息しています。近年では外来種のミシシippアカミミガメも多く確認されています。



- 両生類 無尾目 (カエル類など)
- 爬虫類 カメ目
- 爬虫類 有鱗目 (トカゲ類・ヘビ類など)
- 哺乳類 モグラ目
- 哺乳類 コウモリ目
- 哺乳類 ウサギ目
- 哺乳類 ネズミ目
- 哺乳類 ネコ目 (タヌキ・アナグマなど)
- 哺乳類 ウシ目 (ホンドジカ)

H25年度の河川水辺の国勢調査における確認種数の目別割合

調査地点位置図



ハビタット (生息環境)



五ヶ瀬川水系に生息する重要な生物や特徴的な生物



種名：ヌマガエル
ワンドや水たまり、水田などとその周辺に生息します。背中に1本の白いライン模様がよくみられます。



種名：ミシシippアカミミガメ
別名ミドリガメといい、ペットが野生化した外来種で、要注意外来生物に指定されています。五ヶ瀬川水系でもワンドや淵などに生息しており、在来種への影響が懸念されます。



種名：ニホンカナヘビ
河川敷の草地から民家周辺などの、地表や草の間などに生息しています。トカゲの仲間、体の鱗がざらざらしているのが特徴です。



種名：シマヘビ
河川敷でもっとも普通にみられるヘビで、水辺の草地や水田などに生息しています。成体は縦じま模様が特徴ですが、全身が黒いものもいます。



種名：アオダイショウ
河畔林や水辺の草地、民家周辺などに広く分布し、樹上や草の間などに生息しています。体の色や模様はさまざまです。



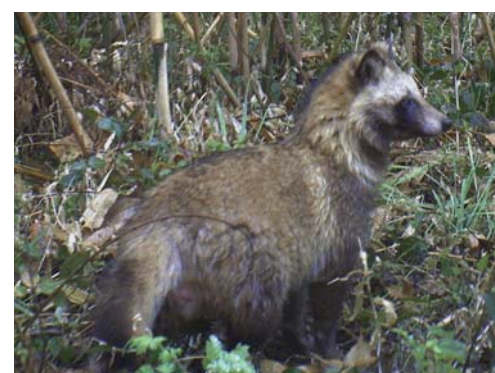
種名：アブラコウモリ
別名イエコウモリといい、橋げたや家の屋根裏などのすき間に営巣し、もっとも普通にみられるコウモリです。河川でも探餌がみられます。



種名：アカネズミ
河畔林や草地、田畑、山林などに広く分布し、地中に巣穴を掘って生息しています。植物の種子や昆虫などを食べます。



種名：カヤネズミ
河川敷や休耕田などの水辺の草地に生息し、オギ等の茎の中ほどの葉を裂いて編んだ球形の巣を作り、春と秋に子育てをします。



種名：タヌキ
里地里山に生息し、河川敷もえさ場や休息場として頻りに利用します。雑食性で昆虫、小動物、果実などをさまざまなものを食べます。